

## 令和5年度第1回春日井市地域公共交通会議議事録

1 開催日時 令和5年8月24日(木) 午前10時から午前11時まで

2 開催場所 春日井市役所南館4階 第3委員会室

3 出席者

【会長】	中部大学工学部都市建設工学科教授	磯部 友彦
【委員】	名鉄バス株式会社運輸本部首席交通企画官	大野 淳
	近鉄東美タクシー株式会社取締役支配人	田中 安浩
	公益財団法人愛知県バス協会専務理事	小林 裕之
	愛知県タクシー協会春日井支部長	奥村 薫績
	春日井市区長町内会長連合会理事	長村 英博
	西部中学校区民生委員児童委員協議会会長	長谷川 久美子
	春日井市老人クラブ連合会副会長	金田 辰男
	春日井商工会議所副会頭	木野瀬 吉孝
	社会福祉法人春日井市社会福祉協議会会長	早川 利久
	春日井市婦人会協議会理事・書記	伊藤 月美
	愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事	高木 数馬
	愛知県尾張建設事務所維持管理課長	吉金 典晃
	春日井市建設部道路課長	倉知 利宜
	愛知県春日井警察署交通課長	坂野 茂樹
	愛知県都市・交通局交通対策課担当課長	石屋 義道
	高蔵寺ニュータウンセンター開発株式会社主幹	木村 俊夫
【参考人】	国土交通省中部運輸局愛知運輸支局 運送・監査担当	岡本 清志
	春日井市まちづくり推進部長	加藤 裕二
【事務局】	春日井市建設部次長兼まちづくり推進部次長	森 浩之
	春日井市まちづくり推進部都市政策課	
	課長	苅谷 健生
	課長補佐	熊澤 伸晃
	主査	津田 哲宏
	主査	加藤 隆人
	主任	梅山 拓也
	技師	若林 努

#### 4 傍聴者

0名

#### 5 議題

- (1) 協議事項1 かすがいシティバスデジタルチケットの運賃区分等の変更について

#### 6 会議資料

資料1 かすがいシティバスデジタルチケットの運賃区分等の変更について

#### 7 議事内容

- (1) 協議事項1 かすがいシティバスデジタルチケットの運賃区分等の変更について

##### 【事務局 梅山】

資料1について説明を行った。

##### 【磯部会長】

協議事項のため、意見交換を行った後、決議を行う。

##### 【石屋委員】

デジタルチケットの使い方のイメージがつかめない。回数券については運転手に画面を見せながら操作するのか。

##### 【事務局 熊澤】

画面に表示された回数券を運転手に見せながらスワイプする。

##### 【伊藤委員】

回数券について、60日以内で使用するのとあるが、使用しない場合はどうなるか。

##### 【事務局 熊澤】

60日を超えた場合は使用できなくなる。また、設定上60日以内という期限が設けられるため、6枚500円での販売としている。

##### 【伊藤委員】

回数券は高齢者等は1回1枚、一般の人は1回2枚の利用になると思われるが、そのような違いは運転手が判断し、操作確認するのか。

##### 【事務局 熊澤】

高齢者等であれば1回1枚、一般の人であれば1回2枚の使用となり、確認は運転手が行う。

##### 【伊藤委員】

回数券に使用期限があると使いづらいのではないか。

##### 【事務局 熊澤】

参考にさせていただく。

##### 【磯部会長】

有効期限を設けている回数券も世の中には存在している点、補足する。

**【奥村委員】**

北部オンデマンドバスについて、move！かすがいのチラシに定期券は使えないとあるが、資料1を見ると定期券が北部オンデマンドバスで使えるように読み取れるため、誤認される可能性がある。

**【事務局 熊澤】**

誤解されない表現に改める。

**【木ノ瀬委員】**

デジタルチケットを使用する際の端末操作は利用者本人が行うのか。また誤操作してしまった場合はどうなるのか。

**【事務局 熊澤】**

利用者本人が行う。誤操作には対応していない。運用は検討していきたい。

**【磯部会長】**

回数券が1枚だけ残っていて、200円分払わなければならない時はどうするか。

**【事務局 熊澤】**

100円分は1枚の回数券を使い、残りの100円は別の方法で支払いしていただくことを想定している。

**【磯部会長】**

こういった内容も丁寧に記載してほしい。

**【田中委員】**

購入場所が専用ウェブサイトとなっているが、購入方法がわからない。

**【事務局 津田】**

チラシのQRコードにアクセスすると、専用ウェブページに移動する。そこでチケット購入ボタンを押すとクレジットカードの登録画面になる。ここでクレジットカードを登録し、必要なチケットを購入するという流れになる。

**【田中委員】**

支払方法はクレジットカードのみか。

**【事務局 津田】**

クレジットカードのみである。

**【田中委員】**

使い切った場合はどう表示されるか。

**【事務局 津田】**

現状ある1回乗車券は「使用済み」と表示される。

**【田中委員】**

スクリーンショット等を用いた不正利用を防止する機能はあるか。

**【事務局 津田】**

回数券については使用の前後での画面の切り替わり、定期券についてはカウントが進むことで確認し、不正利用を防止する。

【磯部会長】

利用者の操作でデジタルチケットを使用することだが、運転手側に利用状況を確認できる装置はないのか。

【事務局 熊澤】

そういった装置はない。

【磯部会長】

不正利用の防止としては、運転手が注意しなければならないのか。

【事務局 熊澤】

運転手への負担が大きいため、実験を通して改善していきたい。

【岡本委員】

実験の期間はいつまでか。また、実験の目的は何か。

【事務局 熊澤】

実験期間は 2024 年 3 月 31 日までとしている。また、目的はデジタルチケットの購入促進である。実験後には、購入者数や利用者数等を踏まえて、今後の対応を検討していく予定である。

【岡本委員】

CentX と連携したウェブサイトになると思われるが、利用は市内のコミュニティバスに限定されるのか。

【事務局 津田】

CentX のマイチケットからデジタルチケットの確認や使用ができるように連携している。また、ルート検索は、CentX のナビタイムを使用しているため、市内に限らず利用可能である。

【磯部会長】

CentX の利用者はデジタルチケットの一種として CentX から操作できるということか。また、CentX を利用していなくてもウェブサイトから購入できるということで良いか。

【事務局 津田】

そのとおりである。

【磯部会長】

最終的には CentX と統合した方が良いのではないか。

【木ノ瀬委員】

春日井市商店街連合会で春日井独自のデジタル通貨の実証実験を始めようとしている。今回のデジタルチケットの実証実験も得られるものがあるため続けていただくのは良いが、このような方法はあまり利便性が良くないため、その後は料金をチャージして支払うデジタル通貨に方向性を切り替えていく方が良いのではないか。実証実験として何をやるかに集中したほうが良いのではないか。

【事務局 熊澤】

ご意見いただいたとおり、現在は実験の最中である。今後も、より使いやすくなるように模索していきたいと考えている。

**【大野委員】**

デジタルチケットを使用する際に、利用者自身で操作していただくことについて、春日井市と協議し、運転手が端末操作を行うとハンドルから手が離れることとなり、危険であると結論付けた。バス停車時はフットブレーキで停車していることが多く、ハンドルから手を離すと、フットブレーキも緩む可能性がある。また、コロナ等のウイルスの感染拡大を防ぐことも考え、利用者が操作することとした。

**【磯部会長】**

デジタルチケットの利用のために電波が必要となる。名鉄バスには Wi-Fi を搭載したバスがあると聞いたが、春日井市のバスは搭載しているか。

**【大野委員】**

搭載していない。また、実験であるため、利用していく中で利用者や運転手の意見、懸念等を聞き、洗い出しができたらと考えており、市ともそのように話している。

**【金田委員】**

高齢者対応はどのように行うか。高齢者はデジタルという言葉に拒否反応を示す人もいる。この実験はスマートフォンを持っていることが条件になっているが、スマートフォンを持っていない人もおり、また持っても操作が不慣れな人もいる。ついでには講習会のようなものはあるのか。また、要望すれば老人クラブの月例会のような場所で講習会等を開催してもらえるのか。

**【事務局 熊澤】**

資料1のP3に記載のとおり、春日井市内で開催されているスマートフォン講座等と連携し、デジタルチケットの購入方法等を周知できればと考えている。また、老人クラブや町内会等より質問等あれば説明させていただく。

**【磯部会長】**

今後はデジタル社会になっていくので、協力をしていただきたい。また、利用できる言語は日本語のみか。

**【事務局 熊澤】**

チラシとウェブサイトの対応言語は日本語のみであるため、外国人等から話ができれば、外国語対応できる部署もあるため、個別に対応させていただく。

**【磯部会長】**

多言語対応の要望が多く出た場合、課題として検討するのか。

**【事務局 熊澤】**

そのとおりである。

**【磯部会長】**

協議事項1かすがいシティバスデジタルチケットの運賃区分等の変更について承認してよろしいか。

**【委員】**

異議なし。

**【磯部会長】**

協議事項 1 かすがいシティバスデジタルチケットの運賃区分等の変更について承認する。

(2) その他

**【事務局 梅山】**

春日井市の交通に関する取り組みについて説明を行った。高蔵寺オンデマンド乗合サービス、石尾台地区のゆっくりカート、情報誌 move! かすがいについて説明。

**【磯部会長】**

この説明について、何かご意見はあるか。

**【大野委員】**

move! かすがいの冊子の最後に記載されているかすがい台団地での名鉄バスの小型車両実験開始について、まもなく1年が経過する。このバスは団地内を細かく停車することもあり、高齢者の利用が増えている。2年目の実験では、運輸支局や警察と連携し、安全を確保した上で、特定の区間だけ自由乗降にできないか協議中である。

小型バスや自由乗降についての実験は、名鉄バスとしては山間部での自由乗降はあるものの、住宅街の実験としては愛知県内では春日井市のみであり、先進的な事例である。細かい実験結果については、時機が来た際に春日井市に共有させていただき、会議体の場で報告させていただく。

最後に、春日井市で行っている取り組みについて、紹介だけではなく、乗降者数の増減やどの区間で乗降が多い等の結果についての振り返りを行った方が良いのではないかと。

**【磯部会長】**

名古屋大学と共同実験をしているのであれば、学会発表等でまとめていると思われるので、この会議で報告をお願いしたい。

**【伊藤委員】**

シティバスは春日井市民病院へ行くのに利用する人が多いと思われるが、始発が7時台で病院に着くのが早すぎると思われる。こういった意見は出ていないのか。

**【事務局 熊澤】**

シティバスは春日井市民病院や春日井市役所への連絡便や昼間帯の高齢者等の移動を多く担っている。始発の時間については、春日井市民病院の開始時間に間に合うようにダイヤ設定している。このことについて、早すぎるという意見は今のところいただけていないが、そのような意見が多く見られた場合は次回のダイヤ改正の参考とする。

**【伊藤委員】**

バスが実施している時間調整は、どこのバス停でも行っているのか。どのバス停でも出発時刻となるまで停車しているのか。乗車するバス停では、乗車するバスの間隔が2時間前後あるため、出発時刻は厳守していただきたい。

**【事務局 熊澤】**

時間は厳守しており、早発することはない。

【大野委員】

補足させていただく。バスの時間管理はコンピューター上で行っており、1秒でも早発すると運転席ではアラートが出るし、運行管理者に連絡が入るようになっている。早発という事案は一切ない。また、日々道路状況から移動時間のデータを取得しているため、頻繁に早く到着する場合にはダイヤ改正の際に調整することとしている。早く着いてしまうことはあるため、ご理解いただきたい。

上記のとおり令和5年度第1回春日井市地域公共交通会議の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席者1人が署名をする。

令和5年10月27日

会 長 磯部 友彦

署名人 木村 俊夫